

**課題**

以下の大型弱視鏡による9方向の検査結果をみて判定せよ。

**第 20 回国家試験問題**

問題 20 25歳の男性。外傷後に複視を訴えて来院した。大型弱視鏡を用いて自覚的斜視角を測定したところ、次の結果を得た。

考えられる麻痺筋は何か。

左方

右方

-7° R/L1° 内方回旋1°	-5° R/L2°	-4° R/L3°
-8° R/L3° 内方回旋3°	-6° R/L5° 内方回旋1°	-5° R/L8° 内方回旋1°
-10° R/L6° 内方回旋5°	-9° R/L7° 内方回旋3°	-8° R/L9° 内方回旋3°

**第 26 回国家試験問題**

問題 7 40歳男性。外傷後三年経過し、複視を訴えて来院した。大型弱視鏡を用いて自覚的斜視角を測定したところ次の結果を得た。

上方

左

右

+6° L/R5° 外方回旋7°	+3° L/R5° 外方回旋7°	+3° L/R9° 外方回旋6°
+7° L/R8° 外方回旋8°	+5° L/R6° 外方回旋6°	+2° L/R11° 外方回旋5°
+8° L/R7° 外方回旋15°	+6° L/R9° 外方回旋8°	+4° L/R14° 外方回旋5°

下方

次の問に答えよ。

1. 考えられる頭位異常をあげよ。
2. 大型弱視鏡による斜視角測定児の固視眼をあげよ。
3. 考えられる麻痺筋をあげよ。

**斜視と眼球運動異常 P165、331、332 他**

-3 R/L 13 ex 1	-3 R/L 9 ex 4	-1 R/L 6 ex 4
-2 R/L 10 ex 1	-3 R/L 9 ex 3	-1 R/L 7 ex 10
0 R/L 5 ex 2	0 R/L 4 ex 3	+1 R/L 4 ex 4

(下)

+4 L/R 15	+5 L/R 8	+6 L/R 2
+4 L/R 19	0 L/R 10	+4 L/R 2
0 L/R 21	0 L/R 10	+1 L/R 2

(下)

	0° R/L3°	0°	0°	
(左)	+2° R/L5° ex 1°	+1° R/L2° ex 2°	0° 0° ex 4°	(右)
	+2° R/L 8° ex 2°	+1° R/L2° ex 4°	+1° R/L2° ex 6°	

	0 L/R9	0 L/R8	0 L/R8	
左	0 L/R5	0 L/R4	0 L/R4	右
	0 R/L3	0 R/L3	0 R/L4	

	+2 L/R 4	+2 L/R 2	+2 R/L 2	
左	+2 L/R 2 ex 10	+2 L/R 4 ex 10	+2 L/R 6 ex 10	右
	+8 R/L 1 ex 24	+8 L/R 5 ex 22	+4 L/R 14 ex 20	

第 44 回国家試験 問題 72 60 歳の男性。交通事故後に複視を自覚して来院した。

視力は右 1.0(矯正不能)、左 1.0(矯正不能)。

大型弱視鏡で測定した正面と第 3 眼位の結果を図に示す。考えられるのはどれか。

1. 右眼下直筋麻痺
2. 左眼上直筋麻痺
3. 右眼上斜筋麻痺
4. 左眼上斜筋麻痺
5. 両眼上斜筋麻痺

	右眼固視	上方	
	+6° 外方回旋 10°		+7° R/L 0.5° 外方回旋 12°
左方		+8° 外方回旋 15°	
	+11° R/L 2° 外方回旋 18°		+10° 外方回旋 20°
		下方	

出典不明

L-Fix

R-Fix

-9° R/L9° EX19°	-8° R/L13° EX18°	R/L13° < にて測定不可
-2° R/L11° EX17°	-2° R/L16° EX16°	-1.5° R/L19° EX13°
+2° R/L8° EX13°	-2° R/L11° EX9°	0° R/L12° EX7°

-1° EX9°	-2° L/R0.5° EX9°	-2° L/R1° EX10°
0° L/R0.5° EX8°	0° L/R0.5° EX11°	0° L/R1° EX10°
+3° EX8°	+3° L/R1° EX9°	+2° L/R0° EX11°

右

左



課題

解答

以下の大型弱視鏡による9方向の検査結果をみて判定せよ。

H2 (20)

第20回国家試験問題

外傷後に複視を訴えて来院した。大型弱視鏡を用いて自覚的斜視角を測定し

たところ、次の結果を得た。

考えられる麻痺筋は何か。

右眼 下直筋麻痺

左方

-7° R/L1° 内方回旋1°	-5° R/L2°	-4° R/L3°
-8° R/L3° 内方回旋3°	-6° R/L5° 内方回旋1°	-5° R/L8° 内方回旋1°
-10° R/L6° 内方回旋5°	-9° R/L7° 内方回旋3°	-8° R/L9° 内方回旋3°

第26回国家試験問題

問題 7 40歳男性。外傷後三年経過し、複視を訴えて来院した。大型弱視鏡を用いて自覚的斜視角を測定したところ次の結果を得た。

上方

+6° L/R5° 外方回旋7°	+3° L/R5° 外方回旋7°	+3° L/R9° 外方回旋6°
+7° L/R8° 外方回旋8°	+5° L/R6° 外方回旋6°	+2° L/R11° 外方回旋5°
+8° L/R7° 外方回旋15°	+6° L/R9° 外方回旋8°	+4° L/R14° 外方回旋5°

左

右

下方

次の問に答えよ。

1. 考えられる頭位異常をあげよ。
2. 大型弱視鏡による斜視角測定児の固視眼をあげよ。
3. 考えられる麻痺筋をあげよ。

1. 顎下げ・右への顔の回転・右への頭の傾げ
2. 右眼
3. 左眼 上斜筋麻痺

斜視と眼球運動異常 P165、331、332 他

-3 R/L 13 ex 1	-3 R/L 9 ex 4	-1 R/L 6 ex 4
-2 R/L 10 ex 1	-3 R/L 9 ex 3	-1 R/L 7 ex 10
0 R/L 5 ex 2	0 R/L 4 ex 3	+1 R/L 4 ex 4

左

右 左

(下)

左眼 上直筋麻痺

+4 L/R 15	+5 L/R 8	+6 L/R 2
+4 L/R 19	0 L/R 10	+4 L/R 2
0 L/R 21	0 L/R 10	+1 L/R 2

右

(下)

左眼 下直筋麻痺

0° R/L3°	0°	0°
+2° R/L5° ex 1°	+1° R/L2° ex 2°	0° 0° ex 4°
+2° <u>R/L 8°</u> ex 2°	+1° R/L2° ex 4°	+1° R/L2° ex 6°

右眼 上斜筋麻痺

0 L/R9	0 ③ L/R8	0 L/R8
0 L/R5 ①←	② 0 L/R4	0 L/R4 →①
0 R/L3	0 R/L3 ③	0 R/L4

右眼 眼窩吹き抜け骨折

- ①左右方視での上下偏位に差は見られず回旋もない→上下直筋、斜筋ではない
  - ②正面視で右眼の下方偏位(左眼の上方偏位)
  - ③上方視ではさらに右眼の下方偏位が大きくなる  
下方視では逆転して、右眼が上方偏位になる
- 右眼の上転と下転が困難  
総合的に判断して→右眼 眼窩吹き抜け骨折

+2 L/R 4	+2 ② L/R 2	+2 R/L 2
+2 L/R 2 ex 10	③ +2 L/R 4 ex 10	+2 L/R 6 ex 10
④ +8 <u>R/L 1</u> ex 24	+8 L/R 5 ex 22	①④ +4 <u>L/R 14</u> ex 20

両眼 上斜筋麻痺

詳しくは「眼球運動の説明」-両上斜筋の麻痺の説明の項に



- ①上下偏位が最大なのは右下方視L/Rで左眼上方偏位大である→左眼上斜筋麻痺?
- ②下方視で内斜視が増加するV型ETである→上斜筋麻痺?
- ③正面視はやや内斜視、左やや上斜視、外方回旋斜視10°→左眼上斜筋麻痺?  
片眼固視での正面回旋の程度が大きい→両眼性?
- ④左右方視(特に下方)とも外方回旋偏位がほぼ同じで回旋の程度が大きい→両眼性?

総合的に判断して→両眼 上斜筋麻痺

左眼の上斜筋麻痺の程度が強い(-斜視と眼球運動異常-P165[表 10]では右眼となっているが間違い?)

第44回国家試験 問題72 60歳の男性。交通事故後に複視を自覚して来院した。

視力は右1.0(矯正不能)、左1.0(矯正不能)。

大型弱視鏡で測定した正面と第3眼位の結果を図に示す。考えられるのはどれか。

- 右眼下直筋麻痺
- 左眼上直筋麻痺
- 右眼上斜筋麻痺
- 左眼上斜筋麻痺
- 両眼上斜筋麻痺

	右眼固視	上方	
	+6° 外方回旋10°		+7° R/L 0.5° 外方回旋12°
左方		+8° 外方回旋15°	
	+11° R/L 2° 外方回旋18°		+10° 外方回旋20°
		下方	



L-Fix			R-Fix		
-9° R/L9° EX19°	-8° R/L13° EX18°	① R/L13° < にて測定不可	-1° L/R0° EX9°	-2° L/R0.5° EX9°	④ -2° L/R1° EX10°
-2° R/L11° EX17°	② -2° R/L16° EX16°	-1.5° R/L19° EX13°	0° L/R0.5° EX8°	0° L/R0.5° EX11°	0° L/R1° EX10°
+2° R/L8° EX13°	⑤ -2° R/L11° EX9°	0° R/L12° EX7°	+3° L/R0° EX8°	+3° L/R1° EX9°	+2° L/R0° EX11°

右 ← 左右 → 左

**右眼 下斜筋過動**

- ①上下偏位が最大なのは左固視時、左上方視 R/L で右眼上方偏位が著明である。  
左固視で右方視より左方視での右眼上方偏位が大きい。→左眼上直筋麻痺による右眼の下斜筋過動？ 又は右眼の上斜筋麻痺？
- ②正面視はやや(外斜視)、上斜視、外方回旋斜視である。→右眼上斜筋麻痺？
- ③右眼上斜筋麻痺なら下方視するほど偏位が大きくなるが少なくなっている。→右眼上斜筋麻痺ではない
- ④右固視で上下偏位は殆どない。→麻痺なら左眼である  
特にとも向き筋に上下偏位がないし、麻痺なら固視眼が交代してもHeringで R/L となる。→左眼上下直筋麻痺ではない。→過動である
- ⑤外方回旋が上方にいくほど大きくなる。  
水平偏位が上方にいくほど大きくなる→V 型である  
総合的に判断して→右眼下斜筋過動